

令和4年6月3日発行

中間テストの結果も返却されたと思いますが、結果はいかがでしたか？テストは受けたら終わりではありません。返却されたテストを上手く活用して、レベルアップのための行動を今日から始めましょう！

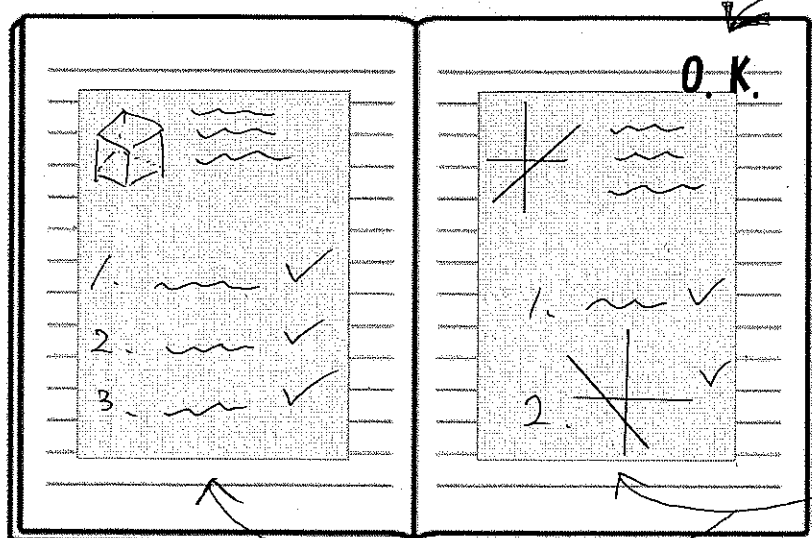


テストの活用「間違った問題ノート」を作ろう！

テストの結果は勿論大切ですが、結果が「良かった」「悪かった」で終わってしまうとテストの価値が半減してしまいます。「できない問題との出会い」を大切にして、その価値を最大限に生かすために「間違った問題」ノートを作りましょう。

これを勉強（実力テストや塾のテストなどのテストだけではなく、普段の勉強で取り組んだ問題も有効）のルーティンにすれば、最終的には自分だけのオリジナル参考書になります。

【間違った問題ノート】を作ろう！



解けるようになったら印を付ける



ノートに間違った問題の切り抜きやコピーを貼り付ける

答えは隠せるような場所や違うページに貼っておけば、繰り返し解くことができます。何度かやったらOKマークなど、「もうやらなくて大丈夫」と分かる目印を書くと達成感も実感できます。

「課題」は何のためにやる？勉強は筋トレと同じ！

テスト前など、各教科で課題が出されますが、なぜ、課題が出されるのでしょうか。それは、その内容をしっかりと身につけてほしいからです。そのためには、ただ提出するだけではいけません。課題に何度もチャレンジし、失敗を繰り返すことで自分の実力が分かり、失敗を乗り越えることで実力が伸びます。脳も筋トレと同じように、トレーニングを積むことで成長します。筋トレをすると筋肉痛になって、筋肉が前より太くなります。皆さん、そこまで、脳を追い込んでいますか？提出することだけを目的とせず、その課題がすべて解けるようになるまで何度も繰り返しましょう。その頑張りが「粘り強く取り組んでいる姿」としても評価もされます。粘り強く取り組んだ先にレベルアップが待っていますので、頑張ってください。